

2025 年度助成事業結果報告

1. 「DANCE FES2025」開催

(主催者：一般財団法人どんぐり財団)

開催日時：2025 年 11 月 15 日 (土) 11:00～12:30

場 所：豊平総合運動公園 体育館

内 容：Young Gunz によるダンスレッスン・GUEST ステージ

第一部 第 18 回日本高校ダンス部選手権 DANCE STADIUM 中国・四国大会出場校による

演技 スモールクラス準優勝 益田東高校

ビッグクラス 第 3 位 広陵高校

出 場 瀬戸内高校

第二部 Young Gunz による指導 (広島文化学園大学ダンス部)

参 加 者：103 名 (小学生 2 名、中学生 5 名、高校生 80 名、社会人 1 名、役員 15 名)

【事業の内容】

本事業「DANCE FES」は、地元青少年がダンスを通じて地域の子供たちと交流し、自己表現力やコミュニケーション能力を育むことを目的とした文化・スポーツイベントとして昨年より開催している。

当法人は、2022 年より一般社団法人ストリートダンス協会とのエリアパートナー契約を結び、「日本高校ダンス部選手権 DANCE STADIUM 中国・四国大会」を運営しており、その大会で入賞したダンス部を招待し、入賞チームによるステージ発表と、全国レベルで活躍する大学ダンス部によるワークショップを組み合わせ実施する。本イベントは、普段触れ合うことのないトップレベルのダンスを体験することにより、子供たちの新たな可能性を発見する場につながる。

今後も継続的に実施することで、地域の子供たちにもスポーツ・芸術活動を通じた健全な発育と教育の機会を提供する。

【事業の成果】

参加校は広島県 2 校、島根県 1 校、合計 3 校を招待しての実施となった。それぞれの学校とも発表する機会や他校の演技を見たり、一緒に練習する機会はあまりないとのことで、高校の交流といった観点からも非常に魅力的なイベントになったと考えている。

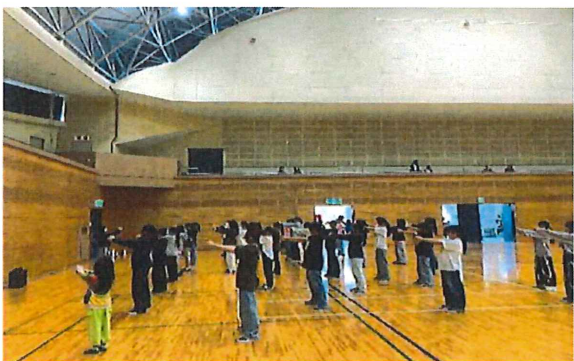
実施当日はどんぐり村内でそば祭りという大きなイベントがあり、そこに来場されている方や地域の子供たちも来館し、ダンスと触れ合う機会を提供できたと考えている。

【事業に対する評価】

高校生の交流や地域の子供たちにとってダンスに触れる機会を作れるこの事業は今後も継続していきたいと考えている。

今年はウツミ記念財団の助成を受けることによりバスの手配を行い実施することができたが、今後継続していく場合は、バスなどの手配を行わなくてもいい形で実施できればこのイベントの継続可能性が高くなると考えている。

(主催者コメント)



夏の感動をもう一度

DANCE FES 2025

11月15日(土) 11:00~12:30

会場 豊平総合運動公園 体育館

内容 Young Gunzによるダンスレッスン・GUESTステージ

対象 小学生から一般

申込み方法 「Googleフォーム」よりお申込みください
お申込みはこちらのQRコードから ▶

参加料 無料

第1部 GUEST
第18回日本高校ダンス部選手権
DANSE STADIUM 中国・四国大会
出場校による演技
スモールクラス 準優勝 益田東高校
ビッグクラス 第3位 広陵高校
出 場 瀬戸内高校

第2部 LESSON
Young Gunz による指導
(広島文化学園大学 ダンス部)

主催：一般財団法人どんぐり財団
協賛：広島県庁
協力：広島文化学園大学 ダンス部 Young Gunz

お問い合わせ先：一般財団法人どんぐり財団
〒730-0292 広島県広島市東区北本町5番10号
☎ 0826-84-1414

どんぐり財団

2025 年度助成事業結果報告

1. 「広島県ティーボール大会」 開催

(団体名：広島県ティーボール連盟)

【事業の内容】

- 4 月 5 日 全国小学生ティーボール選手権大会
- 5 月 17 日 広島県春季野球 (TeeBall) 大会
- 6 月 14 日 広島県春季オープンティーボール交流大会
- 7 月 19 日 ティーボール交流会in海田町
- 7 月 26 日 ティーボール交流会in海田町②
- 10 月 13 日 スポーツフェスタ
- 11 月 1 日 広島県秋季オープンティーボール交流大会
- 11 月 8 日 広島県連盟秋季交流会
- 12 月 26 日 広島県連盟野球教室
- 1 月 17 日 マツスタ秋季野球 (TeeBall) 大会

参 加 者：1,470 名 (小学 1,254 名、高校生 96 名、役員等関係者 120 名)

【事業の成果】

大会を毎月 1 回のペースで開催できるようになってきました。

野球教室では硬式球を使い、高校生と小学生がキャッチボールやベースランニング競争で基礎技術を習得しています。

軟式野球やソフトボールの指導者から、ティーボールを取り入れているチームが県大会の上位に進出することが多くなってきていると聞いています。

【事業に対する評価】

各事業とも役割分担が進んでおり、世代交代を図るために仲間 (審判・スタッフ) を集めるようにしています。

徳島県阿南市に国際交流大会を開催するよう要請しており、東アジアの仲間と連携交流を進めていきたいと考えています。

今年度 12 月 12、13 日には観音新町運動広場を確保し、1 泊を伴う全国規模の大会開催を目指しています。

(主催者コメント)



令和7年 広島県春季野球（ティーボール）大会

令和7年度 広島県春季 野球（ティーボール）大会 開催報告書



- ◆主催 広島県ティーボール連盟
- ◆後援 広島県、広島市、広島市教育委員会、
広島県人形製作協会、広島県教育委員会、
広島県立広島商業高等学校、
広島県立広島商業高等学校野球部
- ◆協力 広島県立広島商業高等学校、広島県立広島商業高等学校野球部、
広島県立広島商業高等学校野球部、
広島県立広島商業高等学校野球部
- ◆協賛 広島県立広島商業高等学校、広島県立広島商業高等学校、
広島県立広島商業高等学校、広島県立広島商業高等学校
- ◆協賛 マツダスタジアム（広島市南区）



令和7年度 広島県春季野球（ティーボール）大会 In マツダスタジアム

- ◆開催日程 年表 A 10月10日までに、小学3・4年生 50名
B 10月12日までに、小学3・4年生 40名
C 10月14日までに、小学3・4年生 40名
D 10月16日までに、小学3・4年生 40名



2025年5月17日(土)

広島県春季野球（ティーボール）大会



2025年 広島県春季 オープンティーボール選手権・交流戦大会 兼 全国小学生選手権大会予選大会



- ◆主催 広島県ティーボール連盟
- ◆後援 広島県、広島市、広島市教育委員会、
広島県人形製作協会、広島県教育委員会、
広島県立広島商業高等学校、
広島県立広島商業高等学校野球部
- ◆協力 広島県立広島商業高等学校、広島県立広島商業高等学校、
広島県立広島商業高等学校、広島県立広島商業高等学校
- ◆協賛 マツダスタジアム（広島市南区）



2025年6月14日(土)

広島県春季オープンティーボール選手権・交流戦大会兼全国小学生選手権大会予選大会

2025 年度助成事業結果報告

1. 「コムソワ杯（富山県）」 開催

（団体名：広島ピースガールズ）

【事業の内容】

2025 年 8 月 16 日、17 日 （富山県）コムソワ杯

参 加 者：25 名（小学生女子 2 名、中学生女子 13 名、役員等関係者 10 名）

【事業の成果】

中学女子野球というまだまだニッチな競技で同じ女子同士、ましてや遠方のチームと交流できたことは選手たちにとってかけがえのない経験となりました。

【事業に対する評価】

保護者の費用負担が大きい競技ですが、助成していただいたことで遠方のチームと交流することができました。

女子野球をニッチからポピュラーにできるよう頑張ります。

（主催者コメント）

**富山・石川・広島
女子軟式野球交流大会
～Comme Sol 杯～**

○ 趣 向：コムソワ杯
○ 主 催：富山中央軟式野球連盟
○ 協 賛：ダイヤモンド株式会社、SPORTS DEPO、Gecko
○ 大会目的：
● 地域間交流
● 女子野球の発展
● 礼儀や道徳を大切にする心を持ってもらう
● 仲間との絆や友情としてのチームの力になる事を学んでもらう
○ 参加資格：中学1年生～高校3年生までの女子
○ 参加チーム：Comme Sol 杯（富山県）、石川県軟式野球連盟（石川県）、USCYS（石川県）、
広島ピースガールズ（広島県）
○ 会 場：1日目：ボールパーク富山メイン球場・サブグラウンド 2日目：ボールパーク富山メイン球場
○ 大会形式：（1日目）14チーム参加トーナメント大会

予選大会会場
メイン球場

1100円会場
メイン球場

1200円会場
メイン球場

1400円会場
サブグラウンド

コムソワ杯
ピースガールズ

ダイヤモンド
USCYS

富山県
石川県
広島県

（2日目）3チームによる決定戦

① 1000円会場
Comme Sol 杯（富山）対 広島ピースガールズ（広島）※メイン球場

② 1200円会場
USCYS（石川）対 広島ピースガールズ（広島）※メイン球場

③ 1400円会場 ※サブグラウンド
USCYS（石川）対 Comme Sol 杯（富山）

※ アーチ球場は野球場の緊急スペースとします。試合のボールが個人で持ち帰る場合は試合の後に必ず回収をお願いします。



2025 年度助成事業結果報告

1. 「(大分県) ベっぷ温泉杯中学生女子軟式野球交流大会 2025」他 開催

(団体名：広島レディース)

【事業の内容】

2025 年

8 月 2 日、3 日 (大分県) ベっぷ温泉杯中学生女子軟式野球交流大会 2025

8 月 21 日～27 日 (京都府) 第 10 回全日本中学女子軟式野球大会

9 月 13 日、14 日 (鳥取県) MIKAZUKI CHAMPIONSHIPS 2025

10 月 18 日、19 日 (島根県) 第 8 回中国地区女子野球大会 フィルティーズカップ

11 月 22 日～24 日 (高知県・愛媛県) ベストフレンドマッチ四国 2025

2026 年

2 月 21 日～23 日 (兵庫県) 第 6 回オープランドゥ CUP

3 月 28 日、29 日 (兵庫県) 第 11 回西日本女子軟式野球中高生大会

参 加 者：35 名 (小学生 3 名、中学生 11 名、役員等関係者 5 名、その他 16 名)

【事業の成果】

全国大会を含め、新たに対戦出来たチームとの交流もでき、チームのレベルアップに繋がりました。11 月にありました中国地区予選を勝ち抜き、3 月の西日本女子軟式野球中高生大会に出場することが出来ました。

【事業に対する評価】

女子チームとの試合が遠方とのチームとなり、練習試合にしても交通費などかかっている状況です。チームで工夫して乗り合いなどして交通費を安くできるよう努力しておりますが、大会参加となりますと宿泊もあり、遠征費積立分を使用しながら運営しております。助成金を活用させて頂き、多くの大会に参加できるようになり大変感謝しております。女子野球が発展できるよう各チームとの交流をしっかりと行ってまいります。

(主催者コメント)



(京都大会)



(鳥取大会)

2025 年度助成事業結果報告

1. 「少年ソフトボール大会運営のための簡易トイレ設置事業」

（団体名：広島少年ソフトボール連盟）

場 所：広島市出島沖グラウンド

事業内容：少年ソフトボール大会運営のための簡易トイレを設置

期 間：2025 年 1 月～12 月

参 加 者：382 名（小学生男子 330 名、小学生女子 33 名、役員等関係者 19 名）

【事業の内容】

当連盟は広島市出島沖グラウンドにおいて、年間を通じて少年ソフトボール大会及び練習試合を開催しております。本助成事業では、同グラウンドにおける大会運営環境の改善を目的として、年間契約による簡易トイレの設置および維持管理を実施しました。

これにより、児童・指導者・保護者を含む参加者が安心して利用できる衛生的な環境を整備し、大会運営の円滑化及び安全性の向上を図りました。

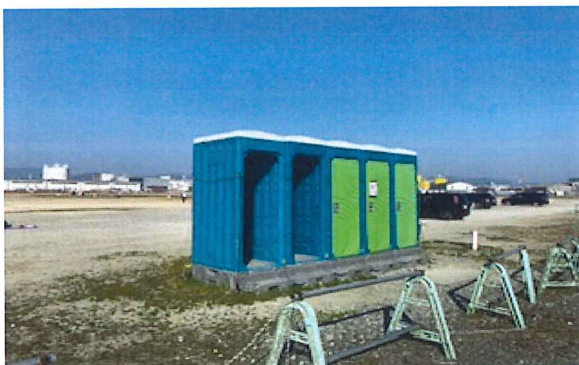
【事業の成果】

簡易トイレの設置により、従来課題となっていたトイレ不足が解消され、会場における衛生環境の改善が図られました。本事業の実施により、年間 10 大会以上開催される少年ソフトボール大会において、1 大会当たり約 400 人、延べ 4,000 人以上の参加者が安心して利用できる環境を確保することが出来、運営の円滑化及び安全性に寄与しました。

【事業に対する評価】

本事業は少年スポーツ活動における衛生的かつ安全な環境整備を目的としたものであり、助成金を有効に活用することで、安定した大会運営を実現することが出来ました。また、参加者の利便性向上のみならず、スポーツ活動の継続的な実施を支える基盤整備としても有意義な事業であったと評価しています。

（主催者コメント）



【広島市出島沖グラウンド】

2025 年度助成事業結果報告

1. 「PUBz Junior Wakesurf Camp」開催

(主催者：PUBz WAKESURF)

開催日時：2025 年 9 月 21 日～10 月 26 日 (4 日間)

場 所：広島県山県郡安芸太田町加計 4692-6 龍姫湖

参 加 者：3 名 (小学生)

【事業の内容】

〔目的〕

ウェイクサーフィンの世界最高峰クラスのゲレンデといえる「龍姫湖」(温井ダム)にて、2022 年度世界チャンピオン・プロウェイクサーファーPUB Miyamoto によるジュニア向け Camp (強化合宿)を開催。目的は、青少年がウェイクサーフィンを通じて自己成長し、自立を促すための活動に繋げること。また、身近に世界最高峰ゲレンデと最高レベルのレッスン環境があることにより、競技への関心を深め、広島から競技者の輩出を目指す。本事業がきっかけとなり、地元ジュニアチーム発足、競技者の排出、スポーツを通じた地域振興を目指す。

〔実施内容〕

参加応募者より 3 名を選出。全 3 回の強化レッスンを実施し、レッスン後、成果発表として撮影会を開催。

【事業の成果】

●選出メンバー：3 名

- ①小学 4 年生 (10 歳) 女子 経験者
- ②小学 4 年生 (10 歳) 男子 未経験者
- ③小学 6 年生 (12 歳) 男子 未経験者

●Camp 開催日：計 4 日

- ① 9/21 (日) レッスン 3 名
- ②10/12 (日) レッスン 3 名
- ③10/19 (日) レッスン 3 名
- ④10/26 (日) 撮影会 3 名

●レッスンの成果

全3回のレッスンを経て、初心者2名はボート上に立ち上がり、ロープを離して水面を滑走するところまで上達した。経験者1名は、トリック（競技における技）を3つ習得することができた。3名は初対面のメンバーであったが、Campを通して互いを刺激し、上達を応援し合う仲間としてのチームワークも生まれた。次シーズンは皆で大会へチャレンジしていこうと意欲的。

【事業の評価】

参加者全員が、世界チャンピオンの指導と世界クオリティのゲレンデなど恵まれた環境を十分理解し、それらにプライドを持って、少ない回数ながらも意識高く技術習得を目指して臨んだ。

メンバーは広島市1名、福山市1名、廿日市市1名であったが、町内外の学年を超えたよい交流機会になった。互いがよきライバル・仲間となり、回を増すごとにチームワークが増した。

経験者の女子1名は昨年度に続く参加であるが、本事業がきっかけとなり2025年度は競技会へチャレンジ。初年度ながら、シーズン上位者のみが参戦可能な世界選手権（10月フロリダ州）へ選出され、コーチと共に渡米した。本Campで世界選手権前のレッスンを実施し本番へ挑んだ。

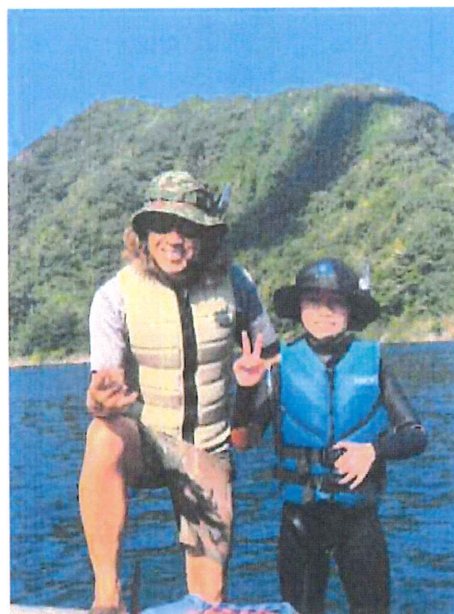
本事業のお陰で、目的のひとつである協議者を排出できたことは大きな成果である。

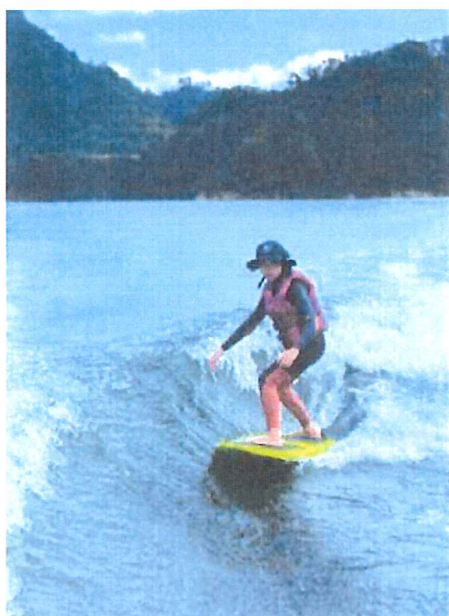
昨年度参加者5名全員は7月に開催したローカル大会へ参加したことも大きな成果。

彼らに続き、今シーズン参加初心者2名も、次年度の大会参加へ意欲的である。

（主催者コメント）

【Camp開催風景】





【2025 The World Series of Wake Surfing】アメリカ フロリダ州 Silver Lake

